

クルアーンに見出される《創造》概念の特色
—— 創造の反響を中心として ——

その [3]

音韻論

(七) 人間の創造に於ける反響性

我々は今までのアッラーによる創造の反響性
にこのようにみてきた。しかし創造の反響性と

その

「甚だ」 漠然、
 として「~~る~~と~~言~~わねば~~」~~「~~存~~る~~ま~~」
 之

つても、未だ^{甚だ} ~~その~~ ~~完全~~ ~~に~~ ~~な~~ ~~ら~~ ~~な~~ ~~い~~。 ~~その~~ ~~二~~ ~~で~~ ~~二~~
 の ~~反~~ ~~覆~~ ~~性~~ と ~~い~~ ~~ふ~~ ~~も~~ ~~の~~ ~~出~~ ~~来~~ ~~る~~ ~~限~~ ~~り~~ ~~は~~ ~~つ~~ ~~さ~~ ~~り~~ ~~さ~~
 せた ~~い~~ ~~と~~ ~~思~~ ~~ふ~~。 ~~以下~~ ~~は~~ ~~その~~ ~~試~~ ~~み~~ ~~の~~ ~~二~~ ~~あり~~。 ~~先~~ ~~ず~~
 khalq ~~の~~ ~~再~~ ~~心~~ ~~の~~ ~~問~~ ~~題~~ ~~の~~ khalq ~~に~~ ~~限~~ ~~定~~ ~~さ~~ ~~る~~ ~~こ~~ ~~と~~ ~~に~~ ~~可~~ ~~し~~
 。

その ~~も~~ ~~その~~ ~~反~~ ~~覆~~ ~~と~~ ~~い~~ ~~ふ~~ ~~場~~ ~~合~~、 ~~二~~ ~~は~~ ~~反~~ ~~覆~~ ~~さ~~ ~~れ~~
 る ~~も~~ ~~の~~、 ~~線~~ ~~り~~ ~~通~~ ~~さ~~ ~~れ~~ ~~る~~ ~~も~~ ~~の~~ ~~が~~ ~~な~~ ~~く~~ ~~て~~ ~~は~~ ~~な~~ ~~ら~~ ~~な~~ ~~い~~
 (=と)

「~~。 二~~ ~~は~~ ~~その~~ ~~原~~ ~~型~~ ~~が~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~な~~ ~~ら~~ ~~ば~~ ~~な~~ ~~ら~~ ~~な~~ ~~い~~。 ~~二~~
~~二~~ ~~に~~ ~~可~~ ~~し~~ ~~る~~ ~~問~~ ~~題~~ ~~の~~ ~~創~~ ~~造~~ ~~の~~ ~~原~~ ~~型~~ ~~と~~ ~~い~~ ~~ふ~~ ~~二~~ ~~と~~ ~~は~~
~~問~~ ~~題~~ ~~に~~ ~~な~~ ~~ら~~ ~~な~~ ~~い~~。 ~~三~~ ~~の~~ ~~原~~ ~~型~~ ~~は~~ ~~何~~ ~~ぞ~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~か~~」

議論
 と
 容易
 に
 可
 し
 る
 こと
 に

(或~~二~~は~~反~~覆~~さ~~れ~~る~~ ~~二~~と)

~~アッラー~~

(=4)

114

アッラーは創造を始めて、それか、それと

もとにあり (ya bdu' al-khalqa thumma yu' -
-dahu) と " 表現の創造を始めて " と " 部

分の注目されるべきである。に相当するところ

(=と)

が、あるならば、それは " 三つは " の表現の創造
の原型と " である。 " 三つは " は

三つは " のものが " 問題 " である " である

人間創造の原型と " である。 " 三つは " は " 問題 " である

である。 " 三つは " は " 原型 " は " 一体 " である

である。 " 三つは " は " 原型 " は " 一体 " である

" 三つは " は " 原型 " は " 一体 " である

1 創造の原型

創造の反覆をたつ原型、人間の最初^の創造
 の一点、一瞬をズバリと描いた箇所が他
 所さぬ30章30節(29)である。即ち、『~~その~~
 汝は汝の顔は hanīf として dīm に向けて。 d-
 -īm とは、その上でアッラーが人間をつくるた
 とするの アッラーの fitrah の = である。ア
 ッラーの創造に変更はない。この dīm は gay-
 -yim ta dīm である。だが大部分の人は理解し
 ない。』である。』の節は4行にわたりに呼ぶ

かけて述べられたものであろうが、歴史上のム
 ハニマドヲ人、ムハニマドの特殊性は全然
 問題にされておらず、実質的には人間一般へ
 と呼んでかけて述べられたものである^①。つまり
 『述、人間は、汝心汝ヲ……』と……との同
 じところである。30章30節(29)は特に大の存箇
 所たることにより、わけ逐語的に記し、且つ集要な
 ところを原語のままにしておいた。以下二節
 を検討してみよう。原語のままにしておいた
 ところの中で先ず *ḥanīf* と呼ばれる。

どの意味かあり、要するに最も大切にしておく
 てはならない。その意味は「...」である。従って上
 の『...』の類は『...』の部分に例えは...
 ...』と...』と...』に言...換えて
 もよいのである。『...』は hamīf とは何か。

hamīf (複数形は hunafā) と...』
^{時・語}
 ...』で、その語源が...』である。...』
 ...』マドの ^在世中 hamīf (hunafā) と呼ば
 れる一群の人達か...』...』、...』はユダヤ教...』
 ...』も...』キリスト教...』も...』別の一神教...』

だか

か

を奉じて

活動12

に ~~あ~~ ~~た~~。別の一神教と " " ても何か特殊な

神を崇拜するの2. 内容は内容的にはユダヤ・

キリスト両教に似て " "。 ~~猶等~~ ~~自身~~ ~~の~~ ~~信~~ ~~と~~ ~~は~~ ~~3~~ ~~に~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~と~~、

ニ ~~九~~ ~~一~~ ~~神~~ ~~は~~ ~~イ~~ ~~ブ~~ ~~ラ~~ ~~ヒ~~ ~~ー~~ ~~ム~~ ~~(~~ ~~ア~~ ~~ブ~~ ~~ラ~~ ~~ハ~~ ~~ム~~ ~~)~~ ~~の~~ ~~す~~ ~~め~~ ~~て~~ ~~"~~

に ~~宗~~ ~~教~~ ~~と~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~と~~ ~~は~~ ~~ユ~~ ~~ダ~~ ~~ヤ~~ ~~キ~~

リ ~~ス~~ ~~ト~~ ~~両~~ ~~教~~ ~~と~~ ~~同~~ ~~じ~~ ~~の~~ ~~系~~ ~~統~~ ~~の~~ ~~宗~~ ~~教~~ ~~と~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~と~~

言 ~~え~~ ~~ま~~ ~~す~~。 ~~猶~~ ~~等~~ ~~が~~ hamīf (hūmafā') ~~の~~ ~~あ~~ ~~り~~

。 ~~ニ~~ ~~の~~ ~~場~~ ~~合~~ ~~ニ~~ ~~ハ~~ ~~は~~ ~~因~~ ~~有~~ ~~名~~ ~~詞~~ ~~と~~ ~~あ~~ ~~る~~。 ~~ム~~ ~~ニ~~ ~~マ~~

ド ~~は~~ ~~猶~~ ~~等~~ ~~に~~ ~~注~~ ~~目~~ ~~す~~。 ~~猶~~ ~~等~~ ~~が~~ ~~ユ~~ ~~ダ~~ ~~ヤ~~ ~~教~~ ~~と~~ ~~あ~~ ~~る~~

同 ~~く~~ ~~キ~~ ~~リ~~ ~~ス~~ ~~ト~~ ~~教~~ ~~と~~ ~~あ~~ ~~る~~。 ~~イ~~ ~~ブ~~ ~~ラ~~ ~~ヒ~~ ~~ー~~ ~~ム~~ ~~の~~ ~~宗~~ ~~教~~ ~~と~~ ~~あ~~ ~~る~~

ニ九

一
*

一

宗
教

一
神
教

の

トアヒケル間(75...76)に付した

(統)

く

が2

一
*

か...
信

1. 命考 > と... 点に注目ある。そ17=9
 hamif と... 言葉は「普通名詞」としてグループ
 2. の中で用... する。 ~~4ハニマドに~~
~~2グループ~~ ~~2. の中で用... する時~~ 3章
 67節(60), 4章125節(124), 6章79節, 同
 161節(162) 有と有に 出てくるが, ~~2. の中で~~
 改めて4ハニマドに, ~~2. の中で~~ ~~2. の中で~~
 2. の中で用... する時 ~~2. の中で~~ hamif と... ~~2. の中で~~
 普通名詞 ~~2. の中で~~ ~~2. の中で~~ 的 ^{以下} に イスラーム教徒と意味
 17. ~~2. の中で~~ 揺るぎ ^尤 有... 信仰に生きた完全

9 信奉者 2. あり

2. の中で ~~2. の中で~~ 意味あり

1. 命考

改め

2. の中で

2. の中で

(尤)

百 | イ | ス | ラ - | 4 | 殉 | 徒 | と | .. | s | = | ヌ | ア | ニ | ス | が | 強 | .. | が
 。 | = | 9 | 9 | s | 百 | 意味 | で | hamif | と | .. | s | 言葉 | エ | ク | ル
 ア - ニ | 2 | 用 | .. | た | と | .. | s | 事 | ^こ | は | 4 | ハ | ニ | マ | ド | が | イ | ス
 ラ - 4 | と | .. | s | 宗 | 殉 | エ | ど | 9 | 9 | s | に | 考 | え | て | .. | た | が
 推 | 察 | でき | る | 9 | 2 | あ | る | 。 | ~~4 | ハ | ニ | マ | ド | に | 9 | 2 | て~~
~~イ | ス | ラ - 4 | 殉 | 徒 | と | 意味 | に | 用 | .. | s | の | た | hamif | と~~
~~ハ | ニ | 言葉~~ | 先 | が | が - に | , | イ | ス | ラ - 4 | 殉 | 徒 | ハ | ニ |
 マ | ド | が | ^{開祖} | ~~殉~~ | 2 | あ | る | 9 | s | 百 | 新 | し | .. | 宗 | 殉 | で | は | 百 | ..
 ニ | と | が | 自 | 覚 | さ | れ | て | .. | 3 | 。 | 何 | 故 | 存 | し | 可 | 2 | に | イ | ブ
 ラ | ^一 | ヒ - 4 | (| ア | ブ | ラ | ハ | 4 |) | に | 9 | 2 | て | 信 | じ | ら | れ

推察
 8

こ
 ハニマドは

開祖

一
 9

— ~~キ~~

天	宗	教	天	の	天	か	ら	。	イ	ブ	ラ	キ	—	—	—	—	—	—	—
ヨ	リ	モ	モ	—	ゼ	ヨ	リ	モ	遙	か	に	古	々	世	代	の	人	々	あ
る	。	従	っ	て	イ	ス	ラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ユ	ダ	ヤ	教	の	リ	モ	遙	か	に	古	々	宗	教	で	あ	る	ニ	と	か
認	識	さ	れ	て	い	る	ニ	と	に	な	る	。	—	—	—	—	—	—	—
認	識	の	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

弟